

2018年 1月号 No.98



セヘボクマニバドゥセヨ(明けましておめでとうございます)。韓国の国際交流員ジョ・ヒウンです。

去年の今頃に、国際交流員選抜試験の2次面接を受け、その結果を待ちながら焦っていた自分のことが思い出されます。ありがたいことに、韓国の国際交流員として霧島市に赴任することになり、市民の方々との交流で楽しく2017年を過ごすことができました。留学の時に多くの方々支えられお世話になったので、今、国際交流員として働くことで微力ながら日韓の架け橋となり、恩返しできていることがとても嬉しいです。これからも私のイベントや私との出会いを通して、霧島市民の方々が韓国についての興味を持っていただければ幸いです。そのため、今年も頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします(^-^)

「国際交流の集い」で、自国の食べ物と日本の茶道を披露



12月17日、天降川地区共同利用施設で行われた第9回「国際交流の集い～世界の味ランチ～」に、霧島市国際交流員3人も参加しました。霧島警察署管内国際化対策協議会と霧島市国際交流協会が主催していて、毎年12月の日曜日に行われています。霧島市に住んでいる外国人と日本人が集まり、自国の食べ物を持ち込んで一緒にランチを食べることで情報交換や相互交流を図ることを目的としたイベントです。

私は韓国ののり巻であるキムパブを、中国のりさんは水餃子と麻婆豆腐を、アメリカのジョセフさんはフライドチキンを作っていました。他にも、日本、中国、マレーシア、台湾など色々な国の人々が自国の料理を持ち寄り、世界の味を味わえるランチタイムになりました。

また、今回のイベントで私とりさんは初めてお点前を披露しました。国際交流員3人は勝間先生から日本の茶道(裏千家)を習っています。11月の中旬からはイベントも多く、忙しい日々合間に茶道の練習をやってきました。今回は順番をたどるので精いっぱいのお点前でしたが、いつかは「一期一会」という茶道の精神を込めて、一服のお茶をさしあげられればと思っています。自国の文化を紹介するだけでなく、日本の文化を学ぶことで、より深い交流ができるのではないかと思います。



来年で10周年を迎える「国際交流の集い～世界の味ランチ～」、様々な国の人々とランチを食べながら皆さんも交流してみませんか？

国分中央高校「韓国講座」で、韓国を紹介

去年の12月から今月にかけて、国分中央高校で3回の韓国講座をしています(最後の3回目は、1月10日の予定です)。韓国文化についての紹介をはじめ、韓国語での自己紹介や簡単なあいさつ、感情表現、旅行会話などについて一緒に学びました。

放課後なので生徒たちは疲れていると思いますが、それでも私の一言一言に耳を傾けてくれるのが感じられ、とてもうれしかったです(^-^)
短い時間でしたが、今回の講座を通して、日本以外に世界には色々な文化があることを分かってもらい、また、その中でより大きな夢をみるのができれば何よりです。国分中央高校の皆さんこれからも応援しています！

